

## 平成22年10月（61回）彦機会幹事会の記録

外に出ると何処からか金木犀のほのかな香りが鼻をくすぐり、ようやく秋の気配が感じられるようになり、何をすることも気持ちが良い気候になりました。今日は2010/10/10、10のそろ目、明日11日が体育の日、晴れの特異日も今年は明日にずれるのかなー。

### <記>

- (1) 日時 : 平成22年10月10日(日) 10:00~12:00  
(2) 場所 : パナソニックリゾート大阪  
(3) 出席者 : 吉田会長、内片副会長、松下副会長、立入副会長、藤田常任幹事、國領常任幹事、山添常任幹事、藤浪

### (4) 議事内容

配布資料：「湖風会」平成22年度 第3回役員会レジュメ  
「湖風会」平成22年度 第3回役員会議事録(案)・・・添付資料(P4~5)  
湖風会近畿支部宛て書簡(←近畿支部 機械科窓口)・・・添付資料(P6)  
県大 jiman 第6号、第7号、  
OPEN CAMPUS 2010

冒頭、松下副会長から、今回北大名誉教授の鈴木 章氏がノーベル化学賞を受賞されたので、同氏の後輩にあたる県大の山根教授にお祝いのメールを発信したら、丁寧な返信があった旨の紹介があった。山根教授が学生のころ、鈴木名誉教授は同じ建物で研究をされていた由、むかわ町の二宮金次郎と言われていたとのこと。

#### 1、湖風会近畿支部について(内片副会長より)

前回の幹事会にも報告したが、支部長の選出が停滞している。杉本常任幹事がしばらくは活動できなくなったこともあり、機械科から1名補充の要請と、もう一度仕切り直しして会合を開こうということになっていた。

彦機会の歴代の会長経験者および田頭顧問とも相談し、地域支部の活動より、旧機械・紡織科の深耕と地域に縛られない工学系グループ会員の結集を目指していきたいと考え、当面「湖風会 近畿支部」活動への参加を辞退させて頂きたい旨の文書を上田氏(建築)および平田副会長へ送付した。今のところ、これに対する反応は無い。湖風会の規約では支部活動としては50名程度の規模を想定している。これは予算面で余り細かい組織がいくつも出来ても管理が煩雑になるからという意図であるが、現状では難しいのではないかと。各科の活動がもっと活発になってくれば別ではあるが。

#### 2、学年幹事への彦機会活動状況報告の発送について(内片副会長より)

学年幹事約40名に発送した。メールアドレス開示のお願いも併せてしたが、3名の方から連絡があった。

松下副会長から関係者には連絡済であるが、S-46Mの学年幹事田中さんが逝去されたので後任に原田 春美さん(静岡県島田市在住)に決定した。

#### 3、湖風会役員会について(松下副会長より)

松下副会長から、出席者全員に同窓会館の建設に対する意見を聞かれた。

その大勢は、箱物を作ればそれ自体のみでなく、維持のための費用がかかる。県大の中で

同窓会活動のためのスペースが無いわけではなく、費用対効果を考えると活動を充実させるための知恵をだし、それを実効あらしめる為に費用を使うべきではないかということに意見が集約された。

9月25日に開催された役員会では、県大側からの提案された、平成24年4月に開設が予定されている「国際コミュニケーション学科」の学棟建設に同窓会会館設備を合築してはどうかということに対して、もう少し慎重に考えたほうが良いという意見が多くあり、今回の合築は見送るほうがよいということとなった。

本件は、同窓会のトップから県大に希望していたいきさつがあり、今回湖風会から県大の提案を蹴る格好になると、県大と湖風会の間に確執が生じるかも知れない。

#### 4、同好会活動の予定について

##### ① ゴルフ同好会（立入世話役）

12月4日（土）9：30～ オレンジシガ カントリークラブにて第10回記念コンペを開催予定。案内は立入世話役から発信済み。

会費は全て込みこみで 18,000 円。3組予約済み。

##### ② フォト同好会（山添世話役）

11月26日（金）に撮影会及び、京都ぎゃらりい西利の写真展見学の予定。

撮影は、南禅寺～永観堂などの東山界隈の紅葉を撮る予定。

詳細は計画立案後山添世話役から案内される予定。

##### ③ テニス同好会

10月23～24日にテニス大会開催予定。

#### 5、杉本常任幹事の近況について

田頭顧問から吉田会長への手紙、10月2日国領常任幹事・松下副会長のお見舞い、10月9日の山添常任幹事の電話連絡の結果、

現在、奈良県立総合リハビリテーションセンター（奈良県田原本町）に入院され、リハビリに専念されている。

山添さんが電話された10月9日初めて外泊の許可が出て、自宅に帰って来られていた。順調に回復されており、言葉はほぼ話ができる状態であるが、右手・右足が不自由で、プログラムに則り懸命にリハビリされている。今まで車椅子を使っておられたが、杖を使って歩行も出来るようになってきているが、右足は引きずり、上がらない様子。

11月一杯は入院の予定であるが、土・日は外泊許可が出れば自宅で過ごされるようだ。折をみて、山添常任幹事に彦機会を代表してお見舞いに行ってもらおうこととした。

（彦機会からの見舞い金 3,000 円持参してもらう）

梗塞が起きた直後は非常に落ち込まれたようであったが、最近ではリハビリの成果が出てきており、退院して2年したら車の運転が出来るようになり、3年したら皆さんとゴルフがしたいと言われるほど意欲的で前向きな姿勢になっておられるとのこと。

必ずや実現できるよう願っております。

#### 6、学部（工学部）同窓会の方向付けについて（国領常任幹事より）

国領常任幹事の体調不良（熱中症）や、林さん（化学）が、今年一杯都合が悪いとかの条件が重なって、ちょっと停滞している。滋賀支部長の松下恭明さんから長谷さん（S-40C）を紹介されコンタクトした。まだ大阪で仕事をされているが、前向きの返事をもらった。

11月頃声を掛けるので宜しくとっている。

学部同窓会を立ち上げる以上ある程度形作っておかなければならないと思っている。彦機会は元々、近畿支部の下でスタートしているが、最近では、ウォーキング&小旅行同好会の活動にも見られるように、全国区になっており、地域を越えての活動になっている。

キーは地域ではない。湖風会の中の工学系の人を集めた広域の集まりを目指したい。  
県大も、工学系の先生を巻き込んでやっていきたい。  
11月頃を目標に骨子（たたき台）を作成中である。松下さん、山添さん、内片さんにも協力を要請している。余力をとらせないので宜しく協力をお願いしたい。  
工学部同窓会のあらましを形作った上で、湖風会トップとのすり合せを考えていきたい。

次回は、忘年会を兼ねて、大阪駅前第一生命ビル地下2階「ニュートーキョー」（個室有り）で開催予定（幹事を山添常任幹事をお願いする）。

以上

次回幹事会 日時： 平成22年12月12日（日）12：00～  
場所： 「ニュートーキョー」第一生命ビル店地下2階（幹事会兼忘年会）  
☎ 06-6346-7451

## 「湖風会」平成22年度 第3回 役員会議事録 (案)

日時：平成22年9月25日(土) 13:00～17:00

場所：彦根勤労福祉会館 第2会議室

出席者(敬称略) 役員：種橋・平田・岡田・大辻・中川・篠田・伊藤・中村・藤本・松下欣

松下恭・大森・五坪・堀内 \* 記録係：事務局 / 竹内

定足数確認 役員総数 27名 出席 14名 委任状 10名 計 24名

配布資料 ・H.22年度第3回役員会資料 ・名簿開示申請書 (案)

開会あいさつ 種橋会長 会長による議長指名 議長：伊藤氏 (芹翠会)

### [議題]

#### ○ 報告事項

1. H.22年度 第2回役員会 7/10 議事録の確認 承認

2. H.22年度 新入学生 終身会費受入状況

今年度対象学生数 591名 6月末現在 受入者数 507名

8/2日督促状発送 8/31現在 33名入金 受入総数 540名

未入金の学生に対して、入学年に限らず 毎年督促状を送付する事等も、実施してはどうかとの意見が出る。 ☆ 今年度分の未納付者には第2回目の督促を実施のこと

#### ○ 審議事項

1. 「会員名簿」整備再編作業の件

「地域支部別 会員名簿」の限定運用をすることはできないか。

会員名簿データの[漏洩・悪用無し]を前提に「限定条件付編集」は行えないか。

各地域支部活動を支援の目的で、支部在籍会員の状況把握に必要な各学科別の学年幹事(Ex.)に限定した編成名簿等の編集を進めることとした。

◇8/21 総務・名簿管理 合同委員会にて今後の名簿管理について協議

管理システム方式の整備の再検討 “ノニエル方式”の管理責任と保守安全性の問題

・ 汎用フォーマルソフトによる管理に変更してはどうか

“ノニエル方式”での名簿管理は、結論として中止、佐々木氏への過去の

管理労務費については、湖風会として何らかの配慮を行なう

・ 県立大学会員名簿の内容更新作業の着手 → 県大会員名簿は入学時の父兄住所地のまゝであり、湖風会として更新が早期に必要であり 事務局にてデータ収容するためにエクセルデータに変換のものを早急に提出するよう依頼することに決定。

◇その後の関係作業等は 名簿管理委員会を開催し、見直しについて検討。

2. 「湖風会」仮称 同窓会館 建設の件

2)-1. 現在までの状況

大学側より、8/19日付けで、同窓会館の施設建設への協力の要請とともに、下記の2項について同窓会側としての要望、意見をまとめ検討結果を9月中に何らかの回答を頂きたいと連絡を受けた。

- (1) 会館建設についての同窓会側の具体的な要望
- (2) 建設に際して同窓会側として拠出できる資金額

湖風会として9/11 役員会から選抜の代表にての「検討委員会」による内容を、次回の役員会に報告しようとしたが、大学側の基本方針などに不明点が多い為、9/22に大学側窓口と面談し情報を得て本日の役員会に報告することとした。

2)-2. 大学側の当、施設建設についての基本構想 (9/22 大学側窓口と面談した情報)

開学後の第2次計画として、平成24年4月に新学科『国際コミュニケーション学科』の開設を決定している同学科の学棟建設に「同窓会館部分」設備を「合築」してはどうか。また、別棟で単独建築の場合、管理費用も含め同窓会責任にて願います。との申し出があった。

2)-3. 湖風会としての会館建設に対する考え方

大学の新学棟に「合築」した方が、同窓会の負担費用の軽減、その後の管理問題、学生とのふれ合い等、利点もあるが、現時点では「単独棟」の建築も含めて、会館建設検討委員会を早急に立ち上げ、もう少し慎重に考えた方が良いとの意見が多くあり、大学側との今回の「合築」は、見送る方がよいということとなった。

※ 大学側窓口へ9月末を目処にこの方針にて進めたいと報告することとした。

3. 就職活動の支援体制について

就職先企業の紹介など、事業支援委員会の活動支援の方法を、年内に大学側と協議。「湖風会」としては、早急に名簿の整備を進め、大学側の就職状況の公開もお願いし、双方で学生の就職支援を行っていききたい。

4. その他

4)-1. 湖風会事務職員 就労手当で見直しの件

当面、現在の待遇条件を維持することを総務委員会で決定し、役員会で了解を得た。勤務時間を拡大、延長する場合は、自己の申告により承認とする。

4)-2. 「会員名簿」名簿開示について

地域支部・同級会等で名簿が必要な場合の名簿開示申請書(案)が提示され、名簿管理委員会で検討のうえ使用することとした。

次回 : 平成22年度 第4回 役員会開催日

平成22年11月27日(土) 13:00~ 彦根勤労福祉会館

以上



湖風会 近畿支部  
上田 茂久 様  
(写) 湖風会 平田副会長 様

2010. 09. 15  
近畿支部 機械科窓口  
内片 武治

拝啓

9月も中旬に入り、さすがの猛暑も朝夕漸く過ごしやすくなって参りましたが、その後ご健勝の事と拝察いたします。日頃は公私にわたりご厚情を頂き衷心より御礼申し上げます。お陰さまで当「彦機会」活動も順調に推移しておりますが、当会の発起人の一人である杉本氏の出来事は活動に致命的な痛手を生じ一同、頭を抱えている次第です。

さて先日ご案内を頂きました、「湖風会、近畿支部」発足の件、ご返事大変遅れましたことお詫び申し上げます。上記の通りの現状も含め、関係者で検討させて頂きました結果当面、下記のような方向で活動いたす運びとなりましたので宜しくお願い申し上げます。

1. 「彦機会」の活動も諸先輩各位のご尽力で今日まで10余年の歳月を重ねて参りましたがご承知の通り主なる活動メンバーは限られており、後輩の参画も残念ながら意に任せず、そろそろ「彦機会」の継承を検討する段階に来ております。
2. 当会の活動は、従来から地域別括りのない広域活動を目指して運営して来ましたが、これからも旧機械・紡織科の深耕と地域に縛られない工学系グループ会員の結集を目指して参ります。既に一部「会社訪問」活動等で積み上げられています学部同窓会的活動の拡大を通じて、ゆくゆくは「彦機会」の継承先を「湖風会 工学部同窓会」に絞りつつあります。
3. 支部設立は旧短大・県立大の卒業学科を横断する地域活動の拠点づくりでもあり、「彦機会」としましても接点は未だ整理がついていない状況です。

以上の状況により、当面「湖風会、近畿支部」活動への参加を辞退させて頂きたく、宜しくお願いします。

不順な気候が続きますが、ご自愛ください。

敬 具